

一般国道340号高田バイパス（竹駒工区）開通！！

大船渡地方振興局土木部

平成10年度から整備を進めてきました国道340号の高田バイパス（竹駒工区）が平成21年3月25日に開通しました。

これまでの道路は、幅員が狭く、急勾配でカーブが連続していたため、交通の隘路となっており、観光シーズンの交通渋滞や、積雪・凍結時に登坂できない車両が発生するなど地域の生活や経済活動に大きな支障が生じていました。

本工区の開通により隘路の解消が図られるとともに、三陸縦貫自動車道と連携し、物流支援、地域間交流、観光地へのアクセス向上等にも重要な役割を果たすものと期待されています。

<位置図>



【事業概要(竹駒工区)】

計画延長:L=1,840m

計画幅員(全幅員)

両側歩道部:W=16.5m

片側歩道部:W=12.5m

(うち車道幅員:W= 6.5m)

設計速度:60km/h

総事業費:約 22.6 億円

事業期間:平成10年度～平成20年度



◆高田バイパス（竹駒工区）に合わせ「市道相川鳴石線」も同時開通！！

また、陸前高田市からの受託工事により、平成11年度から整備を進めてきました市道相川鳴石線も高田バイパスと同時に開通しました。

国道340号と立体交差となる充腹式アーチ橋（橋長L=62.0m）の命名に当たっては、地域住民の方々に参加してもらい、故郷の道を愛する心を育んでもらおうとの考えから、平成16年度に地元の陸前高田市立第一中学校の全校生徒を対象に橋名を募集しました。多数の応募作品の中から、近くの氷上山にちなんだ「氷上橋（ひかみはし）」が選定され、開通式には、名付け親となった当時の生徒8人も参加し、橋名由来碑の除幕式が行われました。

■テープカットの様子



■中里陸前高田市長と高橋大船渡地方振興局長を先頭に氷上橋の渡り初め



■橋名由来碑除幕式の様子

